

南風たより

～みなみかぜ たより～

久本先生を偲んで～先生を偲ぶ会開催される。～

南部病院にとって、今年最大の出来事は、なんと言っても 肛門外科久本 寛先生（享年 76

平成 25 年 10 月 12 日 宮崎観光ホテルにて 先生を偲ぶ会が行われました。

国立病院機構 宮崎東病院を退職後、平成 7 年から南部病院にご勤務され本年 3 月に病に倒れるその日まで、現役の外科医として職務を全うされていました。

ご本人の生前からのご意志を汲み、告別式は、行われずお身内のみでの葬送となったことから、関わりがあった皆様が集い、思い出を語り合う会を行う事となりました。

長きに渡って宮崎県内で消化器外科・肛門外科診療の第一人者としてご活躍されていた先生とあって、県内外から 200 名を超える多数のご参加がありました。

記念の追悼集が作成され、ご寄稿頂いた一人一人の思いが文章から伝わってきました。

会場には、正面には献花台と亡くなられた奥様の手作りの刺繍入り衝立がおかれ、後方には、ヨット競技でのご活躍を書かれた新聞記事、花がお好きだった先生のご自宅の花々、ご愛用の帽子や所蔵していたワインとグ



ラスのコレクション等（写真下）が置かれました。海とお酒と奥様を心から愛した先生に相応しい会場でした。

まず、ご親交の深かった代表発起人 田中外科院長 田中先生（写真上）から開会のごあいさつ、次に久本先生の後輩でいらっしゃる鹿児島大学 愛甲教授から乾杯のご発声、その後は、親しい皆様からの思い出を語るスピーチと続きました。

指導は厳しかったそうですが、後輩の先生方に指導される事は、必ずご自身で実行されている事、その事が先生への尊敬と信頼を生み出した

お知らせ

年末年始の休診案内

12月29日（日）～1月3日（金）休診といたします。

この間は、当直医による救急患者さんへの診察のみとなります。お電話で診療可能な症状かどうかご確認の上、来院をお願いいたします。また、スタッフも少なくなっています。申し訳有りませんが、通常よりも待ち時間が発生する事もご了承下さい。

年内最終診療日：12月28日（土）8:30～14:00 まで受付

年始診療開始日：1月4日（土）8:30～14:00 まで受付

いずれの日も土曜診療体制になりますので、主治医不在の場合があります。ご注意下さい。



(前ページより続く)

途中に今回作成された思い出の写真をまとめたビデオも流され、先生のご家族の写真や在りし日の先生の笑顔が大きなスクリーンに映し出されると来場された皆様には、それぞれ思い出される事があったと思います。

最後に娘さんから皆様にお礼の言葉がありました。娘さん達が、小さな頃から葬式をするな、墓を作るなと言われ続けておられたそうです。そのつもりでいたのだが、突然のお別れに親交のあった皆様からのたくさんのお声に、残されたワインを飲みながら思い出を語るという今回の会を開こうと思われたそうです。きっと余計な事をするなど言いながらも、喜んでくれるだろうと仰っていました。まだまだ

話したい事がいっぱいあったのにとという言葉は、参加した皆様全員の思いだと思います。

当院 八尋院長の閉会の辞により、お開きとなりましたが、皆様名残惜しそうに帰路につかれました。



接遇チーム活動始めました！

最近、病院内で、写真のようなワッペンをつけている職員を見かけませんか？これは、先頃発足した南部病院接遇チームのメンバーです。

病院は、病める方達が少しでも早く楽になれるように有るべき場所です。やっと楽になれると病院にやって来た患者さんが、素っ気なく対応されたらどうでしょうか？とてもつらい事だと思います。お恥ずかしい話なのですが、正直これまでの当院の接遇対応には少なからず苦情があった事は事実です。

そこに働く職員として、出会う方達すべてに笑顔で接する事ができなくてはならないのですが、業務が忙しかったり、身体的不調や悩みなどがあると、つい笑顔を忘れてしまいます。そこで、笑顔を忘れない様にワッペンをつくり、皆様に対応していこうという活動を始めました。

ワッペンをつけている職員は、皆さんに見てもらっているという事を常に意識して業務にあたっていますので、もし、そんな職員が笑顔を忘れていたときは、ご遠慮なくご指摘下さい。

もちろん、ワッペンの無い職員も同じ気持ちで頑張っています。

ワッペンがあってもなくても笑顔を絶やさないそんな職員ばかりになり、この病院に来ると心の中まで、元気になるといわれるような病院を目指したいと思います。



編集局から

久本先生を偲ぶ会では、当院を退職された医師や職員も集いみんなで久本先生の思い出を語ったり、それぞれの近況を話したりと同窓会のような集いになりました。このような機会を作って頂いた先生のご家族に心から感謝します。

(石川)

病院代表番号：0985-54-5353

ホームページアドレス www.nanbuhp.or.jp

号 外 : 講 演 会 と コ ン サ ー ト ご 報 告

平成 25 年 11 月 16 日 土曜日午後の診療終了後の外来待合室を利用して、健康講座と院内コンサートを開催しました。44 名の方の観覧を頂き、無事終了しました。

前日夕方から器材の位置確認、音の調整などと実際やってみると、想像とずいぶん違う部分もあり、9 時過ぎまで、当日参加する職員も参加しない職員も皆であれこれと話し合いながらレイアウトを作っていました。もし、この準備が無ければ・・・恐らく時間通りに始まる事はできなかったでしょう。遅くまでおつきあい頂いた皆様に感謝いたします。

当日は、2 時の外来受付終了後、待合室の椅子の移動から始め、楽器搬入、プロジェクターの準備、音響の確認、緊急患者さんの案内場所の確保と進めていきました。3 時くらいからぼ



つぼつと聞きに来られた方が集まり始め、椅子を埋めていきます。

前日の準備が功を奏して、時間通りに始める事ができました。

まずは、皮膚科 立山 直 医師による乾皮症を中心とした、これからの乾燥した季節の皮膚のお話でした。なぜ、年齢とともに皮膚の乾燥がひどくなるのか、どうすれば良いのかお話を頂きました。市販の薬に麻薬の成分が入っている物があるという事に驚きました。



次に、今年からはじまった胃がんリスク検診 (ABC 検診) について、内科 荒木 康彦 副院長から、講演頂きました。胃がんの原因の一つであるピロリ菌について、検診を受ける際の注意事項など、スライドでわかりやすく説明して下さいました。

講演会終了後、コンサートの部にうつりました。この時間には、病棟の看護師さん達の協力でなかなか病室から出られない患者さんも車椅子で多数集まって来てくれていました。

まず、職員 7 名による合唱ですが、皆さんご存知の『紅葉』と東日本大震災復興支援の歌『花は咲く』の二曲を歌いました。人前で歌う事などめったに無い職員が、仕事の後遅くまで練習し、一生懸命歌いました。



次に当院とご縁が有る方 2 名からそれぞれ、氷川きよしの『白雲の城』をハーモニカ演奏で、小金沢昇司の『神楽坂』を独唱でご披露いただきました。どちらも趣味の域を超えており、1 曲ずつで申し訳なく感じました。

次に医局秘書 宮本によるエレクトーン演奏で大河ドラマ『龍馬伝』から主題曲を、もう一曲は、宮本が撮影した空の写真のスライドをご覧頂きながら、『翼を広げて』を演奏いたしました。

最後は、外科 山成医師と看護師 野崎による歌を放射線科 吉田医師のギターと宮本のエレクトーンによる伴



奏でお聞き頂きました。曲は坂本九の『見上げてごらん夜の星を』でしたが、晩秋のこの季節に相応しい曲を、じっくりと聞かせてもらいました。

初めての試みで、いろいろと運営に不手際はあったかと思いますが、観覧の皆様の温かい拍手に本当に開催して良かったと感じました。

ご協力、ご参加、ご観覧頂いた皆様に心より感謝いたします。